

# 高槻地区保護司会だより

〔事務局〕 高槻市社会福祉協議会内  
〒569-0065 高槻市城西町4番6号  
☎ (072) 674-7684  
〔責任者〕 高槻地区保護司会  
会長 松本 大  
〔編集〕 広報部



人はみな  
生かされて  
生きてゆく  
更生保護ネットワーク



桜にメジロ



引き続き、  
皆様方のお力添えを！

大阪保護観察所  
所長 古山 正成

高槻地区保護司会の皆様方には、平素から更生保護の諸活動に御尽力いただき、誠にありがとうございます。特に、この3年間、コロナ禍において様々な面で制約がある中、不安を抱えながらも目の前の犯罪や非行をした人の立ち直りのため、熱心に活動を続けてこられたことに改めて感謝申し上げます。

さて、近年の犯罪情勢を見ますと、令和4年には刑法犯認知件数が20年ぶりに前年比増加となり、これは、コロナ禍が社会の分断や孤立化の助長などに拍車を掛けてきた結果ではないかと考えられます。また、刑法犯検挙人員に占める再犯者の比率である「再犯者

目次

- 【1面】 新年度のご挨拶 大阪保護観察所長 古山正成
- 【2面】 三箇牧・如是地区特集
- 【3面】 第2回自主研修会・第四期定例研修会・新年互礼会報告・退任挨拶・人事消息・保護司数
- 【4面】 会員文芸欄・あとがき

## 随筆

「高槻市にお世話になって」  
芥川・清水・樫田地区  
宮崎 二三夫

高槻市にお世話になって早56年になります。私が小学校4年の時に撮影された航空写真を見れば、学校の周りは田んぼだらけ、中学校の入学式は新しい学校で体育館の完成が間に合わず、廊下での入学式となりました。当時の新聞にも大きく取り上げられました。

このころより国鉄高槻駅南側の都市開発が始まり、グリーンプラザ1号

私の保護観察日記

五領・磐手地区  
藤井 弦

ここ3年間で担当した対象者は短期を含めて4人である。内訳は交通保護観察が2人、傷害が1人、大麻が1人で、対象者はすべて20才前後の若者ばかりであった。この世代の人たちはスマホを連絡手段として使うだけでなく、そこから様々な情報を得たり、発信したりするツールとして使っている。昭和の世代と大きく違うと感じるのは、

館、2号館、3号館ができて2号館は松坂屋になり、駅の反対側には西武が建ち、関西では異色の街になりました。高校に入るころには、高槻市は近隣で一番の街だと友達に自慢したものです。今思うと、高槻の発展とともに成長してきたように思います。

で全国大会に出場する学校が多く輩出されました。当時「東の清水、西の高槻」と言われるようになり、（知らんけど、笑）大人になってから当時の先生方から、「なみはや国体開催の時のサッカー競技が芝生の競技場で出来たのは、君たちの活躍のおかげや」と言われたときは、素直にうれしく思い、高槻の発展の一助になれたかと思いましたが、これからも高槻市と共に成長していきたいと思っております。

### あとがき

わが家にみかんの木が一本ある。毎年冬になると孫達とみかん狩りをするのが恒例になっていたが、ここ数年実らなくなりました。最近、買ってきたみかんを木に突き刺し、野鳥達が来るのを待っている。ヒヨドリが、大胆に食べたあとメジロもやってくる。食事しながら窓越しに見える鳥達に癒される冬のひとときです。(三)

昨年10月頃から、激しい寒暖差の日が続いています。畑の秋冬野菜にとっては、甘みが増して良いのですが、人間は「寒暖差アレルギーや寒暖差疲労」など、体調を崩す人が急激に増えたそうです。私も先日「ぎっくり腰」になりましたが、その原因の一つは寒暖差らしいです。人間は気候の変動に弱い生き物ですね。(関)

今月は、生活環境調整の追報告書の提出月です。彼の生活環境調整担当は、今回で3度目(本人の入所は4度目)である。引受人が父親から母親に変わった。すべて満期釈放のため、一度も保護観察はしていないし、本人との面識がない。しかし引受人とは永年何回も環境調整しているうちに親しくなった。今回満期釈放になる時期は、私の保護司退任と同じくする。そろそろ引受人に往訪の連絡をしよう。(西)

### ききよう俳壇

春寒やフレイル負けじと散歩せし  
難波津の霞棚引く生駒峰  
名譽会員 緋田 正俊

### ききよう歌壇

水仙の芽出したばかりの庭さ  
きて早くも感じる花茎の気品  
月一度研究会へ杖ついて花を  
いければ心晴やか  
名譽会員 澤田 浩子

春浅しチャイムとともに吾子帰郷  
残雪の隙間に草のたくましさ  
松本 大

稽古から帰る夜道にオリオンの  
凍てつく姿しばし見惚れる  
あれ！なんて？わたしはここに  
いるのだからたまに体験時空のワープ  
愚 狂 人

# 地域連携活動の紹介 三箇牧・如是地区

## 地域の紹介

### ◆地域の位置

高槻市域の南西部に位置し、西は茨木市、南は摂津市に隣接しています。拙い手書きの概略図をご覧くださいますとお分かりの通り、五つの中学校（北より川西中学校、如是中学校、第三中学校、柳川中学校、第七中学校）の地域を担当しています。



### ◆二つの地区について

現在の保護司の人数は、総数17名（三箇牧9名、如是8名）です。

両地区は2年毎、交互に地区長・副地区長を選出して地区の運営を行っております。

両地区とも歴史的に自然災害に見舞われる所であり、直近では平成30年の大阪北部地震、同年の台風21号と甚大な被害に遭遇したことは、まだまだ記憶に新しいところであり、能登半島地震の報道に接しますと心が痛みます。

## 地域活動

### ◆保護司活動の拠点

概略図に記載しております「玉川牧田コミュニティセンター」にて、会議・意見交換等随時活動しております。

### ◆中学校との交流会

平成14年7月、高槻の北部にあったフラワーパークにて初めて開催し、中学校から12名、保護司は14名が参加し、静かな環境で忌憚のない意見交換ができました。

以降、回を重ね令和5年度は、第三中学校にて開催いたしました。保護司会からは「少年事例」を紹介し、学校側からは学校の現状を報告いただき、グループ討議を行いました。生徒数の減少が著しく、クラブ活動がままならないこと、登校が困難な生徒が一定数存在することなど、社会課題を身近に考える機会を得ました。



### ◆“社会を明るくする運動”地域集会

また、“社会を明るくする運動”地域集会も会場は第三中学校をお借りし、まず学校から生徒の活動紹介ビデオを鑑賞した後、「少年非行について」龍谷大学非常勤講師、西村重則先生から講演をいただきました。

地域集会では、更生保護女性会からも支援をいただき大変お世話になりました。



## 第2回 自主研修会

日時 令和5年12月12日（火）13：30～15：30  
会場 高槻市地域福祉会館3階 研修室  
研修課題 「ディスカッション」  
～保護司面接実態についての意見交流～



### おつかれさまでした

このたび定年で退任されましたのでご挨拶をお願いしました。退任後のますますのご活躍を期待申し上げます。

### ご縁をいただいて

五領・磐手地区 烏野 正代

地区の先輩お二人が訪問くださって繋がったご縁です。「保護司??」勉強してからと話している間に「大丈夫ですよ」と不安なままの辞令の伝達・研修。不安は解決しないで保護司活動が始まりました。

対象者は、ほとんどが未成年の少年でした。対象者の出産の知らせにかけつけて赤ちゃんと対面。輝く笑顔の対象者。「わーい、がんばったね。すごい！ おめでとう」を2度経験。

守る生命が彼女たちをしっかりと自立させてくれたことを実感しています。

「どう生活していきたいの？ 困ったことない？ 待ってるよ」重い口から出た本音を聞き、認めること、うれしいと一緒に喜びました。保護観察の解除後も、お子さんの成長をメールや電話で知らせてくれるご縁。

地区会や研修会で「あんまり無理せんでいいよ」と励ましてくださった先輩、困っているとすてきな言葉を贈ってくださったり、活動を支えてくださったりと繋がったご縁の数々。ありがとうございました。今後もよろしく申し上げます。

## 第四期 定例研修会

日時 令和6年2月9日（金）13：30～15：30  
会場 高槻市地域福祉会館3階 研修室  
研修課題 第2回自主研修会「ディスカッション」について  
講師 大阪保護観察所 中村暢子 保護観察官



## 新年互礼会

日時：令和6年1月18日（木）18：00～20：00  
会場：宴どころ つきの井 参加者：40名



## 人事消息 (敬称略)

〔退任〕…………… 令和6年1月24日付  
(五領・磐手地区) 烏野 正代

## 地区別保護司数 (令和6年3月1日現在)

〔高槻保護区〕定数 100名		
保 護 司 会 員 数	在籍数	73名
	高槻・大冠	10名
	芥川・清水・樫田	13名
	富田・阿武野	13名
	五領・磐手	12名
	三箇牧・如是	17名
島本	8名	